

# 保健体育科学習指導案

期 日 令和元年 5 月 17 日（金） 1 校時  
場 所 附 属 中 学 校 校 庭  
対 象 3 年 1 組（男子 20 名，女子 20 名，計 40 名）  
指 導 者 教 諭 大 井 幸 乃

## 1 単元 球技 ゴール型（バスケットボール）

### 2 単元のねらい

#### (1) 目標

バスケットボールの技術の行い方を理解しながら自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫し、安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防を展開することで、勝敗を競う楽しさや喜びを味わうことができるようにする。

#### (2) 評価規準

##### 【知識・技能】

##### ○ 知識

- ア バスケットボールにおいて用いられる技術や戦術，作戦には名称があり，それらをゲーム中に適切に発揮することが攻防のポイントであることを理解している。
- イ 技術は，ボール操作とボールを持たないときの動きに大別できることを理解している。
- ウ ゲームに必要な技術と関連させた補助運動や部分練習を繰り返し行ったり，継続して行ったりすることで，結果として体力を高めることができることを理解している。
- エ 練習やゲーム中の技能を観察したり分析したりするには，自己観察や他者観察などの方法があることを理解している。

##### ○ 技能

##### 〔安定したボール操作〕

- ア ゴールの枠内にシュートをコントロールしている。
- イ 味方が操作しやすいパスを送っている。
- ウ 守備者とボールの間に自分の体を入れてボールをキープしている。

##### 〔空間を作り出すなどの動き〕

- ア ゴール前に広い空間を作り出すために，守備者を引きつけてゴールから離れている。
- イ パスを出した後に次のパスを受ける動きをしている。
- ウ ボール保持者が進行できる空間を作り出すために，進行方向から離れている。
- エ ゴールとボール保持者を結んだ直線上で守っている。
- オ ゴール前の空いている場所をカバーしている。

### 【思考力・判断力・表現力等】

- ア バasketボールについて、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。
- イ 自己や仲間の技術的な課題やチームの作戦・戦術についての課題や課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えている。
- ウ 健康や安全を確保するために、体調や環境に応じた適切な練習方法等について振り返っている。
- エ チームで分担した役割に関する成果や改善すべきポイントについて、自己の活動を振り返っている。
- オ 作戦などの話合いの場面で、合意形成するための関わり方を見付け、仲間に伝えている。
- カ バasketボールの学習成果を踏まえて、自己に適した「する、みる、支える、知る」などの運動を継続して楽しむための関わり方を見付けている。

### 【主体的に学習に取り組む態度】

- ア バasketボールの学習に自主的に取り組もうとしている。
- イ 相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとしている。
- ウ 作戦などについての話合いに貢献しようとしている。
- エ 一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを大切にしようとしている。
- オ 互いに練習相手になったり仲間に助言したりして、互いに助け合い教え合おうとしている。
- カ 仲間や相手チームの技能の程度に応じて力を加減したり、練習場所の安全を確認したりしながら、練習やゲームを行っている。

## 3 球技 ゴール型（Basketボール）の特性

### (1) 一般的特性

- ア パスやドリブル、シュートなどの技術を身に付け、集団的な技能や戦術を用いて競い合うことや作戦を立てて勝敗を競い合うところに楽しさや喜びを味わうことのできる運動である。
- イ パスやドリブル、シュートなどのボールコントロールやボディーコントロールなどの個人的技能や、攻撃の際にゴール前の空いている場所に走り込み得点しやすい空間を作り出すなどの集団的 skill からなる運動である。
- ウ チームで作戦を立てて試合に臨む過程や結果に達成感を味わうことができる運動である。
- エ 攻撃の際、ゴール前の空いている場所に走り込む動きやフォーメーションなどによる空間を作り出す動きが重要となるため、ゲーム展開を予測する判断力を養うことのできる運動である。

### (2) 生徒の側から見た特性

- ア 仲間とパスをつないで、シュートが決まるとうれしい。
- イ 仲間と練習したことが、ゲームで生かすことができると楽しい。
- ウ ボール操作や攻めるときなどの動きがうまくできないとパスが回ってこなくなり、ゲームがおもしろくない。
- エ 練習でボール操作がある程度習得できても、ゲームの中では練習ほどうまくボール操作ができず、技能の習得につまずきを感じやすい。

4 生徒の実態【3年1組40名実施 実施日平成31年4月8日（月）】

(1) 体育の授業は好きですか。

好き	92.1%
どちらかという好き	7.9%
どちらかという嫌い	0%
嫌い	0%

(2) 体育で行う運動やスポーツは得意ですか。

得意	5.2%
どちらかという得意	21.1%
どちらかという苦手	57.9%
苦手	15.8%

(3) 次の球技でどの種目が好きですか。

バレーボール	55.3%
バスケットボール	15.8%
サッカー	15.8%
ソフトボール	10.5%
ハンドボール	2.6%

(4) バスケットボールは好きですか。

好き	31.6%
どちらかという好き	47.4%
どちらかという嫌い	13.1%
嫌い	7.9%

(5) (4)で「どちらかという嫌い・嫌い」と答えた人はその理由を答えなさい。

球技自体があまり得意ではないから	60.0%
どのように動いていいかわからない	25.0%
ボールが当たりそうで怖いから	0%
ルールが複雑でよくわからない	0%
その他 ・ 突き指するのが怖いから ・ 動けなくてみんなの邪魔になってしまうから 等	15.0%

(6) これからバスケットボールの学習を行います(7) これからバスケットボールの学習を行います(7) が、自分が不安だと思う技能はなんですか。 (7) これからバスケットボールの学習を行います(7) すが、特に身に付けたい技能はなんですか。

シュート	36.8%
ドリブル	36.8%
攻撃の仕方	10.6%
守備の仕方	7.8%
パス	4.0%
フェイント	4.0%
その他	0%

シュート	50.0%
ドリブル	31.6%
攻撃の仕方	10.6%
パス	7.8%
フェイント	0.0%
守備の仕方	0.0%
その他	0.0%

(8) どのようなことを授業に望みますか。

体力を高めたい	36.8%
上手い人の技術をたくさん見たい	34.3%
バスケットボールのゲームに必要な個人技能を教えてもらいたい	15.8%
審判方法やルール	7.9%
学習資料等を活用して分かりやすく教えてほしい	2.6%
その他 (試合をたくさんしたい)	2.6%

(9) これまで中学校での保健体育の学習を通して、それぞれの種目において基本的な技能が高められたと思いますか。その理由も答えなさい。

高まった	24.7%
どちらかという高まった	73.7%
どちらかという高まっていない	2.6%
高まっていない	0%

理由  
 ・友達と教え合ったり試したりしてできるようになったから。  
 ・前よりもできる運動が増えたから。  
 ・部活動での経験があったから。  
 ・試合で勝てるようになったから。等

(10) 試合で勝ったり楽しんだりするために、身に付けた知識や技能を生かし、チームの仲間と協力しながら作戦を立てたり、話し合いに参加したりすることは得意ですか。その理由も答えなさい。

得意	13.1%
どちらかという得意	52.6%
あまり得意ではない	34.3%
得意ではない	0.0%

理由 (得意) ・部活動での経験。  
 ・チームの良さを見つけることが楽しい。  
 ・戦略を立てて、チームの仲が深まる。  
 ・作戦を立てたりする様子を聞くのが楽しいから。  
 (苦手) ・知識不足だから。  
 ・自信がないから。  
 ・あまりスポーツに詳しくないから。等

(11) 試合で勝ったり楽しんだりするために、作戦を立てたり、仲間に説明したりすることは得意ですか。その理由も答えなさい。

得意	5.3%
どちらかというと得意	47.4%
あまり得意ではない	47.3%
得意ではない	0.0%

理由

(得意)

- ・プレイするよりも仲間と一緒に考えるのが好きだから。
  - ・部活動の経験があるから。
  - ・勝つための戦略をみんなで考えるのが好きだから。
- (苦手)
- ・作戦を考えられるほどの知識や技能がないから。
  - ・作戦を立てたりはしたいけど、説明したりするのが得意ではないから。
  - ・自分の意見を上手く言葉にできないから。
  - ・どのような作戦を立てたらいいかわからないから。

(考察)

質問1, 2から、本学級のすべての生徒が体育の授業を好意的に捉えていることが分かる。しかし、得意と感じている生徒は26.3%のため、好意はもっているが運動に対して自信がもてない生徒が多くいることが分かる。

質問3から、球技全般の中では、バスケットボールよりも興味がある種目もあるようだが、質問4より好きと答えている生徒が79.8%のため、バスケットボール自体には好意をもっている生徒が多くいることが分かる。「どちらかというと嫌い・嫌い」と答えた生徒の理由には、「どのように動いているのか分からない」、「動けなくてみんなの邪魔になってしまう」と答えていたことから、試合場面等でチームに対して自分の貢献度を味わえていないことが好意をもてない理由の一つにもなっていると考えられる。1年生では、主に安定したボール操作の習得に向けた学習を中心に進めた後に、簡易ゲームの中で空間に走り込む動きを実践しながら授業を展開している。しかし、コート内で攻撃と守備が入り交じりながら攻防が展開される中で、いくら安定したボール操作の習得を図っても十分に発揮できなかつたり、意図的なプレイを妨げられたりすることが多くあった。ゲーム状況を予測し、状況に適した戦術を選択し、意思決定しながら、プレイすることはまだ身に付いていない。したがって、ボールを保持したとき、守備プレイヤーにボールを取られないようにキープしながらフリーの味方を見つけてパスを出すことや、また、ボールを持っていないとき、ボール保持者と守備プレイヤーの位置関係を把握しながらパスを受けることのできるスペースへ走り込んだり、味方がパスを受けるために守備プレイヤーを引きつけるように動いたりするといった学習内容を中心に、安定したボール操作と空間を活用したり作り出したりする動きの習得を行っていきたい。仲間と連携してボールをキープし、得点を得るために有効な空間へボールを運び、シュートを決めるゲームが展開できるようになれば、バスケットボールの魅力やゲームにおける攻防のおもしろさを味わうことができると考える。

質問6, 7, 8より、身に付けたい技能や授業に望んでいることとして、シュートやドリブルなどの安定したボール操作についての習得の数値が高い。このことから、安定したボール操作の練習時間をしっかりと確保し、技能の向上を目指したい。質問9より、これまでの授業の取組を効果的に捉えている生徒も多く、具体的な理由として「前よりも運動ができるようになった」、「友達と教え合ったり試したりしてできるようになった」などが挙げられているので、生涯を通じて運動に楽しめるように、運動への取組あるいは「する・みる・支える・知る」といった様々な関わり方があることも授業の中で取り上げたい。

質問10, 11より、試合で勝ったり楽しんだりするために、チームの仲間と協力して作戦を立てたり、話合いには参加しているが、作戦を立てたり、立てた作戦について説明することは苦手意識をもっている。その理由として、「その種目の知識不足」、「あまりスポーツに詳しくない」などがあげられていることから、個人技能の有効な使い方や戦術などを、作戦ボード等を活用しながら知識とともに実践を踏まえ、理解を深められるようにしていきたいと考える。

以上のことから、本単元では、安定したボール操作の習得を目指しながら、戦術を基にチームの仲間と得失点差を意識した攻防の作戦を工夫させることによって、より一層試合を楽しめるような授業を展開していきたいと考えている。

## 5 球技 ゴール型（バスケットボール）学習・指導の意義

- (1) 自己やチームの課題を把握しながら、その課題の解決に向け、段階的な取組を実践することで、作戦に応じたボール操作で、仲間と連携してゲームの勝敗を楽しむことや喜びを味わうことができ、運動に親しむ習慣や態度を育てることができる。
- (2) バスケットボールの特性から、ダッシュやフェイント、シュートに必要な瞬発力や敏捷性、相手とのコンタクトプレイに耐えうる筋力、また、それらの運動を継続する持久力などの体力を高めることができる。
- (3) ゲームでは作戦や戦術、連携プレイが重要であり、判断力や注意力を高めることができる。また、自己やチームの課題解決のために、相手の感情に配慮しながら自分の考えを述べたり、相手の発言に同意したりして話合いや学習を進めていくことで、相互の信頼関係を深めることができる。
- (4) 互いに協力しながら練習やゲームを行う中で、自己の役割を果たしたり、助け合ったりすることを通して、社会生活を過ごす上で必要な責任感を身に付けることができる。

## 6 球技 ゴール型（バスケットボール）学習指導上の方針・方策

### (1) 「運動と多様な関わり方をする3つの活動」を取り入れた学習過程の工夫【教科論5(1)】

生徒がバスケットボールと多様な関わりをすることにより新たな価値（特性や魅力）を見出すために、本単元では「捉える活動」・「つなげる活動」・「見出す活動」のそれぞれ3つの活動にあたる場面を「アナライズステージ」、「シナリオステージ」、「パフォーマンスステージ」として設定する。具体的に「アナライズステージ」では、アナライズシートを用いて個人やチームの特徴などに関して観察の視点を与え、分析させた内容を記録させることによって「みる」、「知る」といった関わりを充実させる。また、「シナリオステージ」では、アナライズシートで得た内容から、実際に自チームの作戦を立てる中で気付いたことを互いに意見し合い、作戦を立てさせることによって、「支える」といった関わりを充実させる。さらに、「パフォーマンスステージ」では、実践した作戦が効果的であったかどうかを相手チームと共に発表させながら相互評価することによって、新たな価値を見出すことにつなげていく。

### (2) 3つの学習シートを用いた指導の工夫【教科論5(1)】

#### ア 「捉える活動」を充実させるアナライズシートの活用

「みる」、「知る」といった関わり方を充実させるために、個人や自他のチームの特徴等を分析させ、アナライズシートにそれぞれの個人や自他のチームの特徴を記録させる活動を取り入れる。具体的には、個人やチームの特徴などに関して観察する視点を生徒に与え、試合の様子を撮影した映像などを活用しながら、自分の動きや自他のチームの動きを分析させたこと、気付いたところなどをアナライズシートに記入させていく。

#### イ 「つなげる活動」を充実させるシナリオシートと作戦ボードの活用

「支える」といった関わり方を充実させるために、学習してきた戦術をもとに話合い、チームの特徴を生かしたポジションの工夫や作戦を立てさせる活動を取り入れる。具体的には、アナライズシートに記入した内容を踏まえ、チーム内でそれぞれの考えや意見を出し合わせ作戦を立てさせる。その際に、チーム全体が理解しやすいように作戦ボードを効果的に活用させ、作戦の検討

や修正を視覚的に捉えさせながら、作戦の動きのイメージをもたせやすくする。考え出した作戦は、シナリオシートに記入させ、実践させる。

#### ウ 「見出す活動」を充実させるパフォーマンスシートの活用

新たな価値（特性や魅力）を見出させるために、正式に試合を行わせ、実践した作戦が効果的であったかどうかを相手チームと共に相互に発表しながら評価させる活動を取り入れる。具体的には、試合後、目的やねらいをもってプレイした内容などの作戦について発表させる。その後、相手チームからアドバイスされた内容や他のチームの効果的な作戦の成果と課題を聞き、新たな価値（特性や魅力）に気付かせながら、パフォーマンスシートに記入させる。

### (3) その他

ア オリエンテーションにおいて、バスケットボールへの関心を高めさせるために、バスケットボールの試合を映像で鑑賞させたり、バスケットボールの歴史や特性に触れさせたりさせる。

イ 基本的な技術について、動きのポイントを理解しやすくするために、各チームにバスケットボールが得意なメンバーを配置し、いつでも動きの確認や話し合いができるようにチーム編成を行う。

ウ 段階的・系統的に学習を進めるために、学習過程を「オリエンテーション」、「ボール操作の習得を図る段階」、「空間をつくりだすなどの動きを学ぶ段階（アナライズステージ）・相手チームの特徴を踏まえて作戦を立てる段階（シナリオステージ）」、「まとめの段階（シナリオステージ）」の4つに編成する。

エ バスケットボールのゲーム仕方やルールを理解させるために、毎時間、人数やルールを簡易化した簡易ゲームを取り入れる。

オ 相手チームや自チームの得失点における分析を行うために、試合の際にスコア表を付けさせる。

## 7 球技 ゴール型（バスケットボール）学習・指導計画

段階	時間	学習内容及び学習活動			評価計画
		技能の内容	●態度の内容	□知識, ■思考・判断の内容	
オリエンテーション	1 2	◇ 準備運動 ・ 附中体操 ◇ レディネステスト ・ ドリブル, パス, シュート ・ 簡易ゲーム ◇ グループ編成 ・ 5名×8チーム ◇ 補助・補強運動 ・ 動的ストレッチ ・ ボールコントロール	● 学習の場や用具の準備, 後片付けに自主的に取り組むこと  ● 体調の変化に気を配りながら健康に気を付けたり, 用具や練習場所などの安全への配慮を心がけること	□ バスケットボールの特性, 用具の使用, 安全面の留意事項, 単元の見通し等について理解を深めること □ ゲームに関連させた補助運動を繰り返したり, 継続して行ったりすることで体力が高められることを理解すること ■ 必要な準備運動や自己が取り組む補助運動を選択していること	1 知 健康や安全を確保するために, 段階的な練習の仕方, 用具の安全確認の仕方, けがを防止する練習の仕方を理解しているか。 1 学 用具の準備・片付けなどの分担した役割に自主的に取り組もうとしているか。 2 学 自己や仲間の技能の程度に応じて力を加減したり, 練習場所の安全を確認したりしながら練習を行っているか。
		◇ 安定したボール操作 ※ ゲームを通して個人やチームの課題を見つける。 ○ ドリブル ・ スピードドリブル ・ コントロールドリブル ○ パス ・ チェストパス ・ バウンスパス ・ ショルダーパス ・ サイドハンドパス ・ キャッチの構え ○ シュート ・ セットシュート ・ ジャンプシュート ・ ランニングシュート ○ ボールキープ ・ ストップ ・ ピボットターン ・ リバウンド ○ 防御 ・ 1対1の守備 ・ 守る位置と向き	● 練習でのルールを守り, 仲間や相手を尊重する態度を身に付けること ● 練習で使う用具の準備や後片付けを自主的に取り組むこと ● 自己やチームの課題の解決に向けて, 他者との話合いに責任をもって関わること ● 自己や仲間の技能を上達させていくために, 繰り返し粘り強く取り組むこと ● 体調の変化に気を配りながら健康に気を付け, 用具や練習場所などの安全に気を配る態度を身に付けること	□ パス・ドリブル・シュートなどの動きについて理解し, 具体的に説明すること □ 自己観察や他者観察を用いることで, 個人やチームの学習課題が明確になり, 学習成果が高められることを理解すること ■ 健康や安全を確保するために, 体調や環境に応じた適切な練習を振り返ること ■ バスケットボールについて, 合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して, 成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えること	3 知 ゲームに必要な技術と関連させた補助運動や部分練習を繰り返したり, 継続して行ったりすることで, 体力が高められることを理解しているか。 3 技 ゴールの枠内にシュートをコントロールしたり, 味方が操作しやすいところへパスを送ったりしているか。 4 技 ゴールとボール保持者を結んだ直線上で守ったり, ゴール前の空いている場所をカバーしながら守ったりしているか。 4 思 互いに練習相手になったり, 仲間に助言したりして, 互いに助け合おうとしているか。
安定したボール操作を習得を図る段階	3 4	◇ 空間をつくりだすなどの動き ※ボール操作を生かしながら行う。 ※ゲームを通して課題を見つける。 ○ 攻め方のポイント ① チームの長所を生かして攻撃 ・ 速さを生かして速攻 ・ 高さを生かしてポストプレイ ② カットインプレイやスクリーンプレイを使った攻撃 ○ 守り方のポイント ① 相手を一定方向へ追い込んだり, 相手のドリブルを奪ったりする ② 相手の中心プレイヤーへの厳しいマーク, マンツーマンディフェンスを工夫した守り ③ 守る→リバウンドボールを取る→攻撃に転ずる, の一連の切り替えを途切れさせない。 ○ 戦術 攻撃 ポストプレイ, スクリーンプレイ 守備 スイッチ, スライドスルー	● 自己や仲間の技能を上達させていくために, 繰り返し粘り強く練習に取り組むこと ● 練習で使う用具の準備や後片付けを自主的に取り組むこと ● ルールやマナーを守るだけではなく, 相手や仲間を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとする態度を養うこと ● 一人一人の技能に応じた課題設定や修正を大切にしようとしていること ● 互いに練習相手になったり, 仲間に助言したりして, 互いに助け合い教え合おうとしている ● これまで身に付けた力を実感し, 自信をもって効果的に解決しようとする ● チームで努力したことを認めようとする	□ 集団での攻め方・守り方について理解し, 具体的に説明すること □ ゲームに関連させた部分練習を繰り返したり, 継続して行ったりすることで体力が高められることを理解すること ■ チームのメンバーと互いに助け合うことで, 相互の信頼関係を深め, 課題の解決に役立つなど自主的な学習を行いやすくしようとしていること ■ チームなどの課題解決に向けて, 自己の考えを述べたり, 相手の話を聞いたりするなど, チームの話合いに責任をもってかかわろうとしていること □ ゲームについてのルールや進め方, 審判の方法について理解すること	5 思 自チームの技術的な課題やチームの作戦・戦術についての課題や課題解決に有効な練習方法について, 自己の考え方を伝えているか。 6 知 戦術や作戦において技能をゲーム中に適切に発揮することが攻防のポイントであることを理解しているか。 7 技 ゴール前に広い空間を作り出すために, 守備者をしたり, パスを出した後に次のパスを受ける動きをしたりしているか。 8 思 自チームや相手チームを分析し, それぞれの特徴を踏まえた戦術や作戦を選択しているか。 9 思 作戦などの話合いの場面で, 合意形成するための関わり方を見付け, 仲間に伝えているか。 10 技 一人一人の違いに応じた課題設定や修正などを大切にしようとしているか。
		◇ ゲーム ・ 5対5 (正規のルール)	● ゲームの中で, 自己に与えられた役割に, 責任をもって取り組むこと ● 体調の変化に気を配りながら健康に気を付け, 用具や練習場所などの安全に気を配る態度を養うこと	□ バスケットボールにおける勝敗を競う楽しさや喜びを理解すること ■ ルールを守り競争したり勝敗を受け入れたりする場面で, よりよいマナーや行為について, 自己の活動を振り返ること ■ バスケットボールの学習成果を踏まえて, 自己に適した運動を継続して楽しむためのかかわり方を見付けていること	11 思 チームで分担した役割に関する成果や改善すべきポイントについて, 自己の活動を振り返っているか。 12 技 安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防を展開しているか。
まとめの段階	11 12				

## 8 本時の実際

(1) 指導区分 9/12

(2) ねらい

ア 戦術や作戦に応じて、技能をゲーム中に適切に発揮することが攻防のポイントであることを理解している。

【知識】

イ 安定したボール操作で、ゴール前に広い空間を作り出すために、守備者を引きつけてゴールから離れたり、パスを出した後に次のパスを受けたりする動きをしている。

【技能】

ウ 自己や仲間の技術的な課題やチームの作戦・戦術についての課題や課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考え方を伝えている。

【思考力・判断力・表現力等】

エ 一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを大切にしようとしている。

【主体的に学習に取り組む態度】

(3) 本時の学習過程

学習過程	時間	学習内容及び学習活動	○留意点●援助・支援★研究の手立て
準備運動	1	はじめ	○ 用具確認、練習場、その周辺の安全確認を行う。 ○ 出欠・健康状態の確認、見学者への指示を行う。
補助運動	3	附中体操 1	○ 全員で大きな声で号令をかけさせる。 ○ 体の当たりを意識させながら相撲を行わせる。
	5	補助運動・補強運動 2	○ 動きのポイントを理解させながら、チームで協力して練習をさせる。
試行	8	試行 3  【ゲーム 男女各3分間】 ・ 前時の授業で相手チームを分析しながら立てた作戦を基に、ゲームを行う。 ・ ゲーム以外では、各チームで割り当てられた係に取り組み、ゲームの運営を行う。	【試行 6-(1)、6-(2)-イ】  ★ 作戦を確認させるためのシナリオシートの活用 前時で立てた作戦を基に、ゲームがスムーズに行えるように確認しながら練習を行わせる。
学習課題の確認	5	学習課題の確認 4  より効果的な作戦を立てるためには、どのようなことを工夫すればよieldらうか。	○ 練習場、周辺の安全の確認を行う。 【相互練習 6-(2)-ア・イ】
相互練習	18	相互練習 5  確認  練習Ⅰ ・ ゲームの内容を反省しながら、チームで修正、改善するところを話し合い、シナリオシートに記入させる。 ・ 改善したところを中心に練習しながら、確認する。 練習Ⅱ ・ 修正、改善したところを中心に試しながら、ゲームを行う。	★ 作戦を練り直させるためのアナライズシート・シナリオシート・作戦ボードの活用 前時で立てた作戦を基に、ゲームを行って出てきた課題から、どのような戦術が有効であったか、また工夫するところなどを確認しながら、シナリオを練り直させる。
成果確認	5	学習成果の確認 6  診断  補説	● 教師による作戦のポイントを押さえた師範・アドバイス ○ 用具の管理、係の配置をチームで責任をもって、取り組ませる。 【相互練習 6-(2)-ア・イ】
反省評価	3	本時のまとめ 7  診断	★ 作戦を練り直させるためのアナライズシート・シナリオシート・作戦ボードの活用 どのような作戦を立てたか、また本時のゲームで上手くいったところや改善したいところを発表する。
課題把握	3	次時の課題把握 8  【本時のまとめ】 ・ 相互練習と学習成果の確認で学んだこと確認できたことを、発表させる。 ・ 各チームで学習の成果や確認したことなどを発表する。 【次時の課題把握】 ・ 本時で立てた作戦で有効だったことを、次時で発表することを確認する。	○ 練習場、周辺の安全の確認を行う。 【学習成果の確認 6-(2)-イ】
整理運動	2	整理運動 9  【整理運動】 ・ 手足を中心にストレッチングを行う。 ・ あいさつ ・ 用具の後始末	★ 作戦を練り直すためのシナリオシートと作戦ボードの活用 自チームでの戦術を共通確認しやすくするために、シナリオシートと作戦ボードを活用しながらチームで話し合わせる。  ● 作戦の練り直しを活性化させるための男女によるアドバイス活動 ○ シナリオシートをもとに、上手くいったところや修正したところ、新たな課題について発表させる。 ○ 次時の活動について触れ、学習に対する見通しをもたせ学習意欲を高める。 ○ ストレッチングを行う中で、身体の調子、ケガはないかを確認させる。 ○ 用具の後始末の確認をさせる。
		おわり	

# 学習カード

チーム「 \_\_\_\_\_ 」ゼッケン( )色

【 3年球技 バasketボール 】 3年( )組( )番 氏名( )

個人目標	
------	--

**自分の特色 得意とすることを自由に記入!**

(例) 声を出して指示を出ことが得意  
持久力がある  
投力がある  
動きの分析が得意  
ゲームの運営(審判得点係)が得意  
等

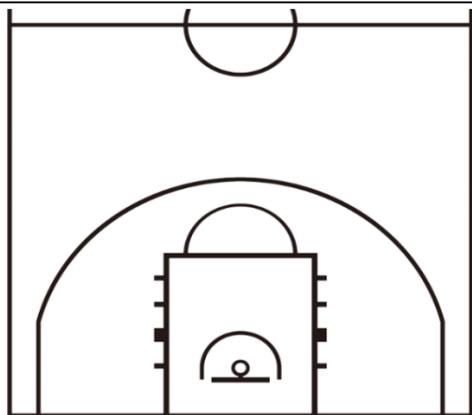
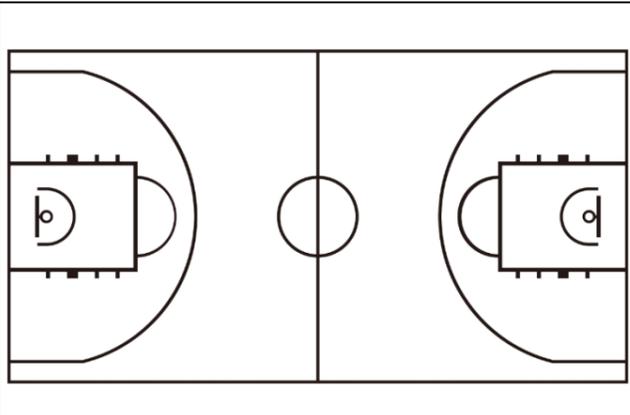
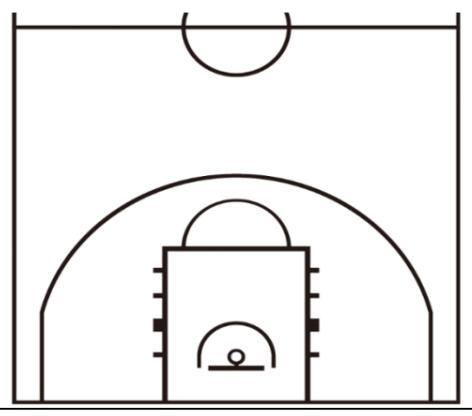
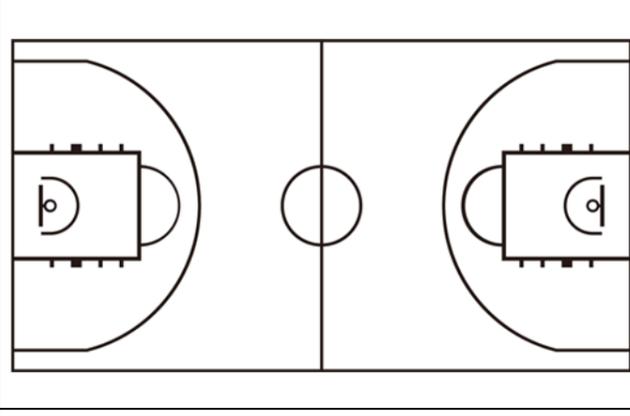
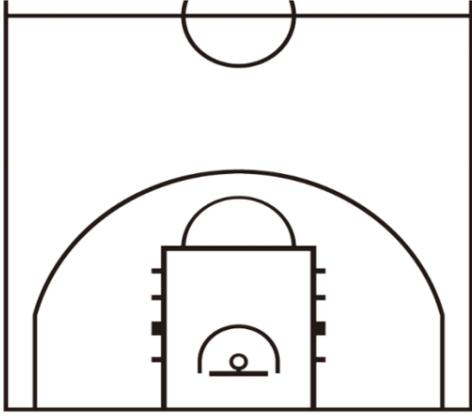
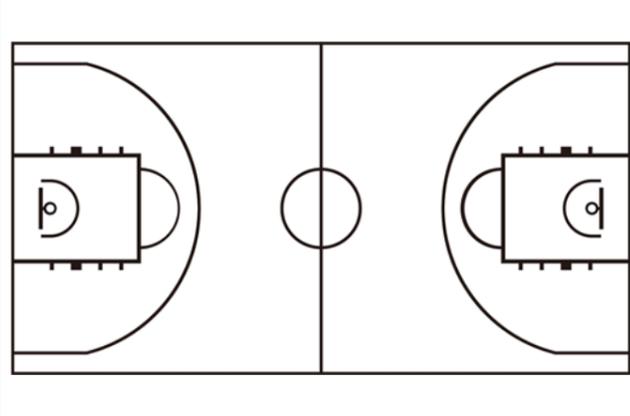
**相手チームの特色**

**個人課題**

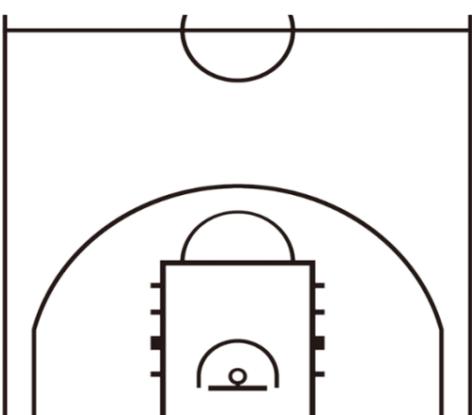
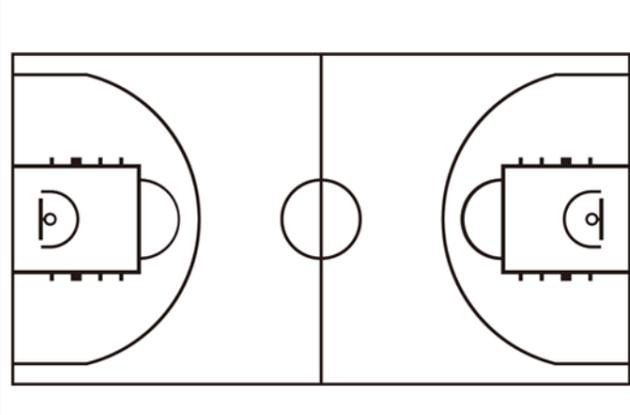
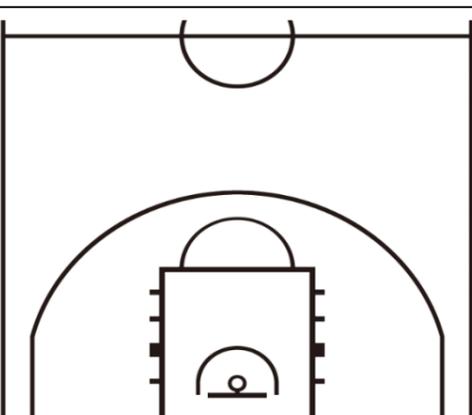
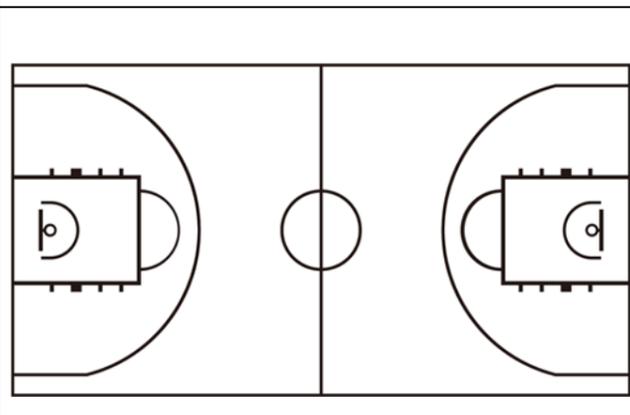
時	月日	本時の個人課題	練習を通して気づいたこと等	アドバイス	時	月日	本時の個人課題	練習を通して気づいたこと等	アドバイス
例	4 / 18	味方へ正確にパスを送る! 守備がこわくて味方にうまくパスを送ることができない。	上に放るようパスしていたけど、バウンスパスの方が取られなくてつながることが多かった。		7				
3					8				
4					9				
5					10				
6					11				

**授業を終えて**

**学習した戦術** OF...○ DF...△ ボール...● パス...→ ドリブル...- - ->

**チーム作戦** OF...○ DF...△ ボール...● パス...→ ドリブル...- - ->

		有効と考えられる攻撃展開や守備方法を記入
		

**メモ**



# シナリオシート

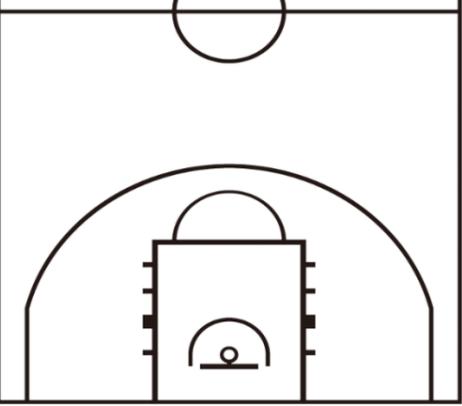
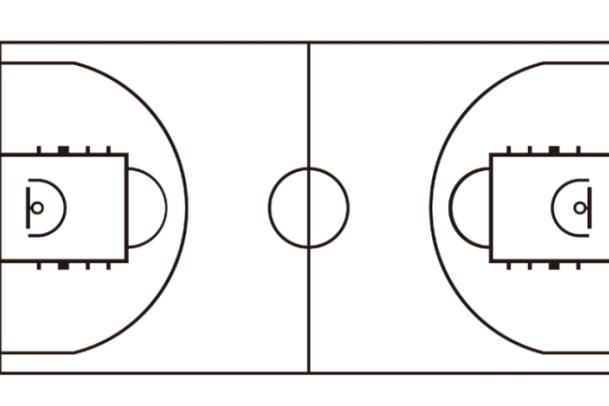
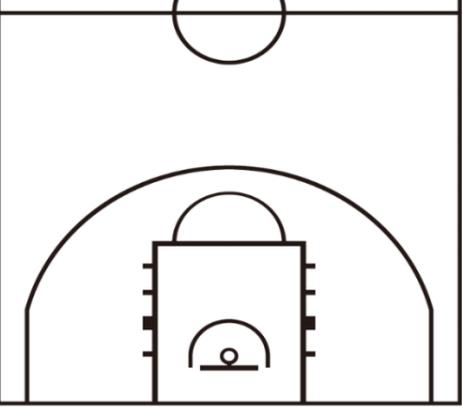
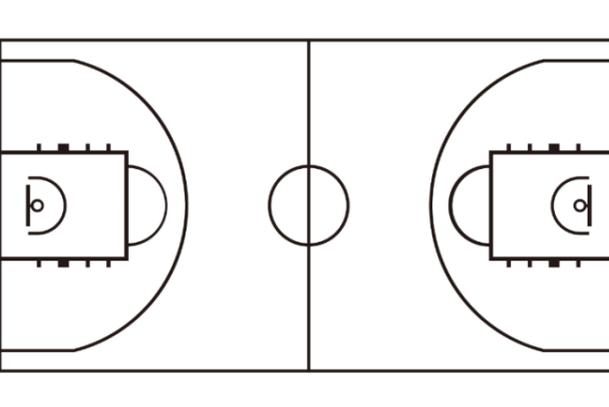
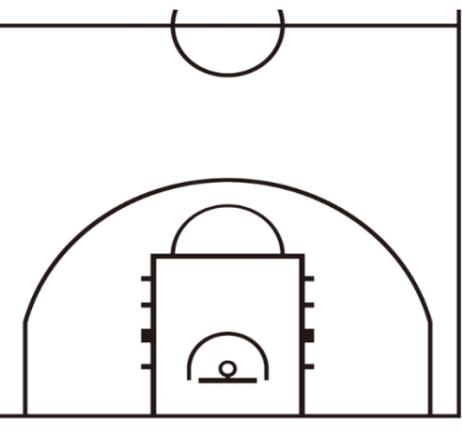
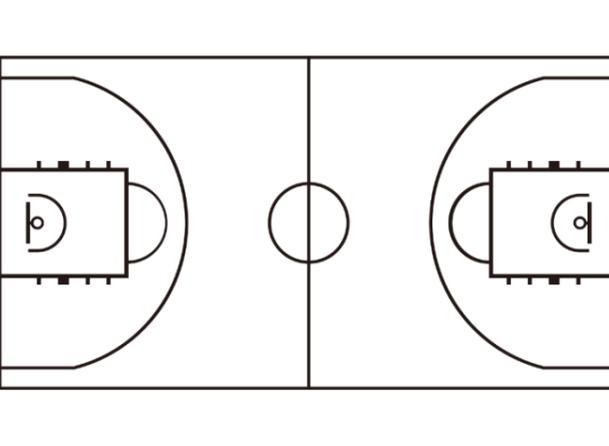
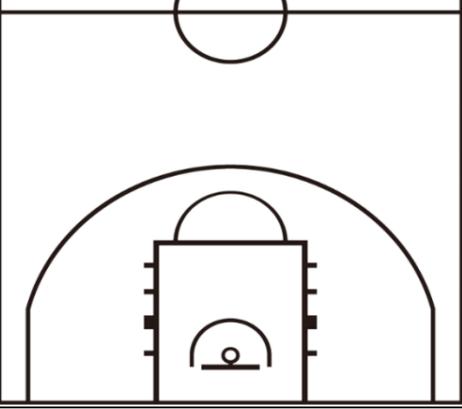
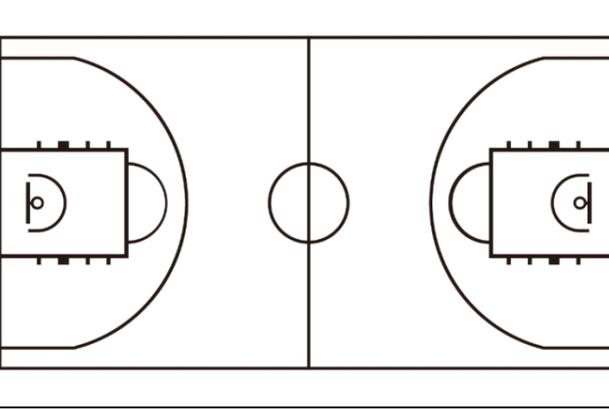
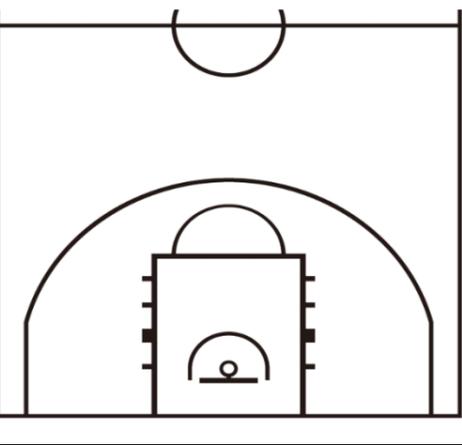
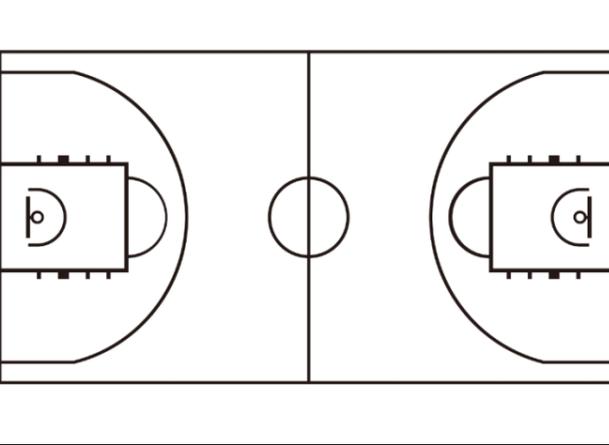
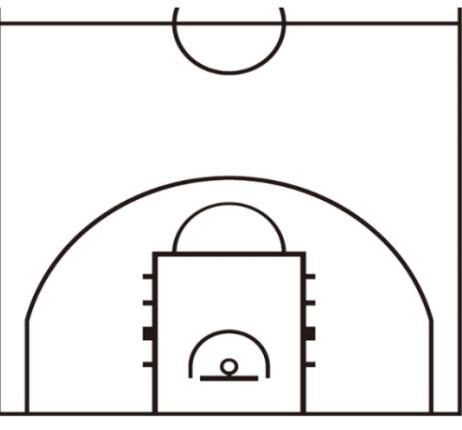
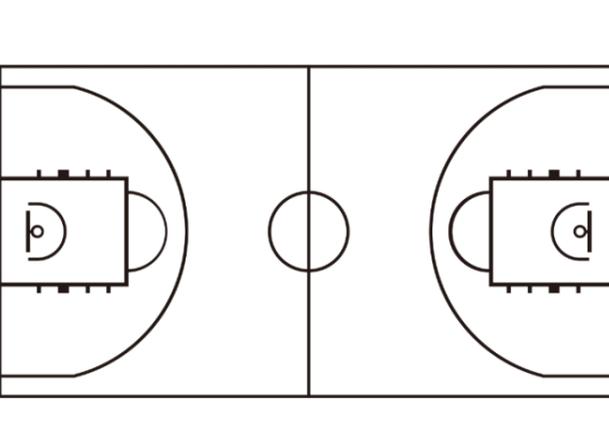
OF...○

DF...△

ボール...●

パス...→

ドリブル...- - ->

		<p>予想されることは...</p> <p>だから</p> <p>攻撃のポジションを配置する</p>
		<p>予想されることは...</p> <p>だから</p> <p>守備のポジションを配置する</p>
		<p>予想されることは...</p> <p>だから</p> <p>ように攻撃をする</p>
		<p>予想されることは...</p> <p>だから</p> <p>ように守備をする</p>
		<p>その他</p>
		<p>その他</p>